

第2回低線量被ばくのリスク管理に関するワーキンググループ概要

日時：平成23年11月15日（火） 18:30～20:30

場所：東海大学校友会館 「望星の間」

出席者：

（有識者） 遠藤啓吾氏、木村真三氏、近藤駿介氏、酒井一夫氏、佐々木康人氏、柴田義貞氏、長瀧重信氏（共同主査）、前川和彦氏（共同主査）

[五十音順]

（政府側） 細野原発事故の収束及び再発防止担当大臣、中塚内閣府副大臣、佐々木内閣官房副長官補、菅原原子力被災者生活支援チーム事務局長補佐、鷺坂環境省水・大気環境局長、安田内閣審議官、伊藤内閣審議官、矢島内閣審議官

（オブザーバー（国会議員等）） 森文部科学副大臣、高山環境大臣政務官

・衆議院チェルノブイリ原子力発電所事故等調査議員団

松野頼久衆議院議員、遠藤乙彦衆議院議員

・衆議院欧州及び中近東各国における災害・復興状況等実情調査議員団

古賀一成衆議院議員、橋本清仁衆議院議員

議事：チェルノブイリ事故対応からの示唆

1. 柴田義貞 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科教授より、「リスクと安全、安心」、「チェルノブイリ原発事故」、「一般住民の被曝線量」、「健康影響」、「環境汚染」、「ECRRについて」及び「意見の骨子」等について説明。

◆上記について質疑応答

2. 木村真三 獨協医科大学国際疫学研究室福島分室長・准教授より、「いわき市の汚染マップ」、「チェルノブイリからの最新の知見」、「これまでわかってきたことの概要」、「提案その1～その3」及び「除染の問題点」等について説明。

◆上記について質疑応答

以上